

レブングル自然情報

カラーで自然情報を「礼文島のHP http://www.d1.dion.ne.jp/~ishida_h/index.htm」
「ゆうひの丘のHP <http://homepage1.nifty.com/seikanso/>」

金田岬のゴマフアザラシ

皆さんはもう見ましたか？金田岬では夏の間ずっとゴマフアザラシが見られました。最初に連絡を受けたのは6月下旬でした。はじめのうちはすぐにいなくなると思っていたのですが、9月になってもまだいるのです。海馬島で夏を過ごすアザラシが毎年数を増していると、漁師の方から聞いていましたが、礼文島の海岸で見るアザラシは、例年6月には姿を消してました。ところが今年は違ってました。多いときは28頭ものアザラシがそのユーモラスな仕草（エビ反り、あくび等）を見せてくれました。特に観光客は自然に過ごす姿を間近に見られて、たいへん喜んでいました。毎年見られるようになれば観光の目玉にもなりますが、心配なのは漁業被害です。道東では鮭の定置網にゼニガタアザラシが入り込んで食害をおこしていると聞いてます。あまりに数が増えすぎれば、人との住み分けがうまくいかなくなります。そうなればトドのように害獣として駆除されることにもなりかねません。これ以上増えないで身近に見られる状態が維持できればいいですね。



ゴマフアザラシ胡麻斑海豹

北海道周辺で見られるアザラシでその殆どは冬期に北方から南下してくる。3月頃に流氷上で純白の幼体毛を持った子を産む、寿命は30年以上に達するものがある。

10月8日（日）キノコの観察会

午後1時～香深井の緑が丘森林公園
講師：上川キノコの会 佐藤清吉氏
参加費用は一人500円、参加希望者は前日までにレブングルまで連絡下さい。

9月礼文の花

・キク科の花がたくさんあり、よく見るとまだまだ咲いています。

アサギリソウ白、イワヨモギ緑、
エゾゴマナ白、エゾノコンギク紺、
エゾミソハギ赤、エゾヤマハギ紫、
エゾリンドウ青、オオイタドリ緑、
カラフトブシ青(リゾブシ)、オオヨモギ緑、
コガネギク黄、シコタンヨモギ緑、
チシマリンドウ紫、ナギナタコウジュ紫、
ヒロハウラジロヨモギ緑、
レブナイワレンゲ緑、レブントウヒレン赤、

夏の夜のスライド上映会の予定

今年もスライド上映を始めました。
午後7時半～緑が丘キャンプ場管理棟
9月7日、14日、21日、28日

礼文島の撮影ガイド：

<http://www.fujifilm.co.jp/sapporo/bunrei0006/index.html>

8月の自然日誌

5日晴れ22度、金田岬アザラシ10頭余り、ヒバリ
 6日晴れ昆布漁23度、礼文林道コエゾゼミ、クマガラ
 7日曇り一時雨昆布漁24度
 桃岩下：帰化種初ノラニンジン、ホソノゲムギ
 9日晴れ、ゴロタ岬エゾヤマハギ、
 礼文林道コエゾゼミ、ゴマフアブ多数
 11日：金田岬ゴマフアザラシ
 12日晴れ23度、金田岬ゴマフアザラシ8頭
 海馬島ゴマフアザラシ多数、江戸屋オニユリ、
 久種湖ドクゼリ、セリ、ハネナガキリギリス、
 礼文林道エゾチツゼミ初鳴き、
 16日晴れ24度、暑くて暑くて日射病になりそう。
 ゴロタ岬コエゾゼミ、エゾチツゼミ啼いている。
 江戸屋山道ホウロクシギ？2、キアゲハ
 17日晴れ28度、利尻くつきり
 香深井スライド&勉強会、礼文島の地形の話し
 18日曇り25度利尻くつきり
 19日曇り、風あり20度、夕方晴れ利尻見えた。
 船泊湾：5種類のシギ、トウネン、イソシギ、
 ハマシギ？、オジロトウネン？、キアシシギ
 久種湖キジバト、ハクセキレイ多数、ツバメ、
 20日20度、礼文林道ベニヒカゲ、アキアカネ？
 22日雨27度、レブンクル自然情報66発行
 23日曇りのち雨26度
 桃展、ツコムシ、クサキリ？チシマオドリコソウ、
 24日曇り、朝一時雨27度、鉄府分岐ヤナギラン、
 笹泊エゾホソバトリカブト、エゾリンドウ、
 晩-勉強会&スライド：礼文島の構造土-小野有吾
 25日曇り時々晴れ25度
 礼文滝オオヤマサギソウ、レブンサイコ
 28日曇り24度桃展：ハヤブサ、イブキヒメギス、
 29日曇り25度
 金田岬チュウシャクシギ2、トウネン5、
 イソシギ1、キアシシギ1、キョウジョウシギ1
 メダイチドリ2、コオバシギ2、-福岡
 海幢前タカブシギ1、トウネン、
 エリマキシギ1、クサシギ1、-福岡
 30日曇り時々晴れ24度
 礼文空港チシマリンドウ、エゾヤマハギ
 金田岬コオバシギ-福岡
 海幢ウズラシギ1、トウネン9、イソシギ1、
 31日曇り時々晴れまたは雨26度、利尻見えない。
 金田岬-イソシギ4、キアシシギ1、トウネン1
 海幢前-ハマシギ1、タカブシギ2、
 オジロトウネン1、アジサシ1？
 海幢前-オジロトウネン1、ハマシギ1、
 クサシギ1、トウネン5、エリマキシギ1、
 五番地ヒバリシギ2
 幌泊-メダイチドリ3、トウネン5
 晩-勉強会&スライド-ササの見分け渡辺訓男

花の本
 礼文 / 花の島
 花の道
 利尻 / 山の島
 花の道
 サロベツ / 花原野
 花の道
 書店で販売中

礼文島の地形の話し 2

8月24日 北大小野有吾教授が来島され、「礼文島の構造土」について説明していただきました。

その内容を私なりにまとめましたので、読んでみて下さい。はじめに「構造土」とは凍結融解の繰り返しによる砂れきの移動地で、表土が移動を繰り返します。つまりくづれやすい性質を持った表土に礼文島は覆われているのです。

このような表土は高山帯や極地地方に見られ、大雪山などではコマクサ平のようにコマクサやタカネスミレなどが群落を作る地域です。礼文島の西海岸にも大雪山の高山帯と同じ様な砂れき地が何カ所も見られます。礼文林道のウスユキソウ群生地周辺に見られる砂れき地でも構造土の性質がよく見られ、毎年崩れている様子が見えます。そこにはミヤマオダマキ、イブキジャコウソウなどの植物が群落をつくっているのが見られました。また砂れき地ではなく植物がマット状に表土を覆っている地域も、表土は毎年わずかづつ動いていると思われる。ですから表土が繰り返し移動するのにも耐える植物がこの地域には生育しているとも言え、崖崩れなども起こりやすい環境が礼文島の植物を維持しているとも言えます。ですから高山植物帯に柵や土留めをすることは、観光客の安全面では必要と考えられますが、植物を保護するためにはやらないほうが良いことにも思われました。

礼文島の「笹の話」

8月31日札幌の渡辺訓男さんが来島し、笹について説明をしていただきました。礼文島では「クマイザサ」と「チシマザサ」が見られます。ただし混生していて場所によっては雑種も生まれていて、見分けが難しいものがあります。おおざっぱな見分けの方法として、葉に注目して下さい。「クマイザサは葉の裏に毛がありザラザラしています。葉が柔らかく大きくて広いのも特徴です。礼文林道では香深井側から、宇遠内入口付近に多いです。」「チシマザサは毛が無くスベスベしてます。葉が硬く小さく細いのも特徴です。ネマガリと言ってタケノコを食べるのもこちらです。礼文林道の礼文滝入口付近に見られます。

小さな植物館 オープン 大備・山本宅

去る6月20日から大備の山本繁次さん宅で高山植物の写真や本などを一般に公開しています。

「北の島だより」子供たちと自然とのふれあい、四季の礼文島の魅力を紹介します。

写真と文： 杉田美野里、 絵： 中島祥子、 発行： 岩崎書店 定価1500円

レブンクル自然情報は「町営書店BOOK愛ランド礼文」自然情報コーナーにあります。